

J R山陰本線（園部～綾部）沿線地域

公共交通活性化協議会（第27回）

次 第

日時 令和7年1月22日(水) 15:30～

場所 南丹市園部文化会館「アスエルそのべ」3階大研修室

1 開 会

2 議 題

第1号 園福線の利用状況について

第2号 令和6事業年度地域公共交通確保維持事業の事業評価について

3 そ の 他

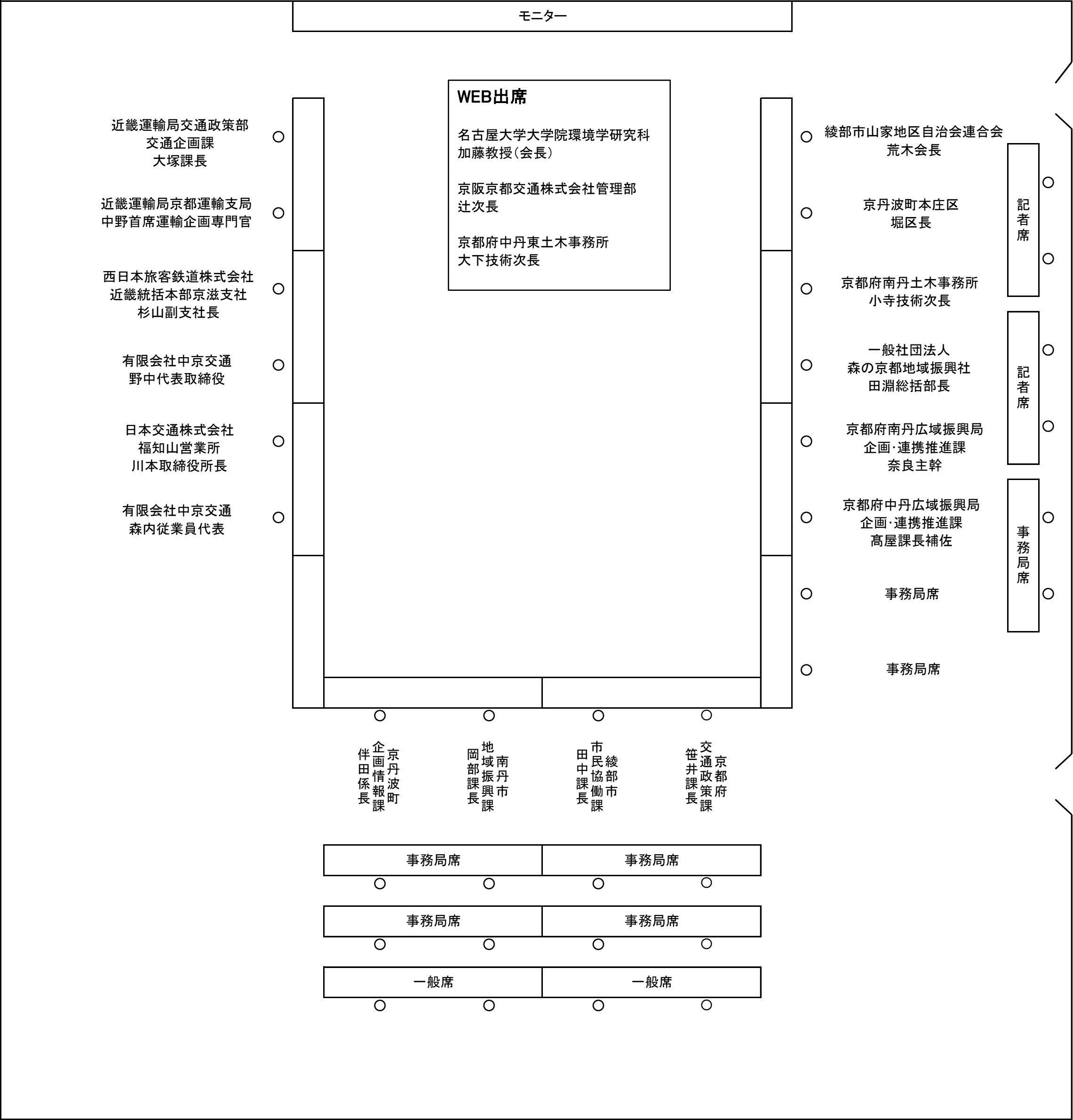
4 閉 会

J R山陰本線(園部～綾部)沿線地域公共交通活性化協議会（第２７回）出席者名簿

分野	所属	職名	氏名	備考	出欠	代理出席者名
学識経験者	名古屋大学大学院環境学研究科	教授	加藤 博和 かとう ひろかず	会長	WEB出席	
利用者代表	綾部市山家地区自治会連合会	会長	荒木 敏文 あらき としふみ		出席	
	日吉町ＪＲ利用者友の会	元会長	上段 源一郎 じょうだん げんいちろう		欠席	
	京丹波町本庄区	区長	堀 郁太郎 ほり いくたろう		出席	
交通事業者等	西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部京滋支社	副支社長	杉山 幸介 すぎやま こうすけ		出席	
	京阪京都交通株式会社	管理部次長	辻 栄一 つじ えいいち		WEB出席	
	有限会社中京交通	代表取締役	野 中 好 の な こう		出席	
	日本交通株式会社 福知山営業所	取締役所長兼 (綾部営業所長兼任)	川本 康博 かわもと やすひろ		出席	
	京都タクシー株式会社	取締役	中 敷 裕介 なか ぶ ゆうすけ		欠席	
労働者代表	有限会社中京交通の労働基準法第３６条に基づく労使協定を締結する労働者代表	従業員代表	森内 佳津美 もりうち かづみ		出席	
道路管理者	国土交通省福知山河川国道事務所	道路管理課長	大西 裕之 おおにし ひろゆき		欠席	
	京都府南丹土木事務所	技術次長	小寺 睦男 こてら もつお		出席	
	京都府中丹東土木事務所	技術次長	大下 浩一 おおした こういち		WEB出席	
公安委員会	京都府南丹警察署	交通課長	下野 且久 しも の かつひさ		欠席	
	京都府綾部警察署	交通課長	渡 邊 徹 わた なべ とおる		欠席	
運輸行政	近畿運輸局交通政策部	交通企画課長	大塚 保洋 おおつか やすひろ		出席	
	近畿運輸局京都運輸支局	首席運輸企画専門官	日高 政美 ひだか まさみ		代理出席	中野首席運輸企画専門官
観光地域づくり団体	一般社団法人森の京都地域振興社	総括部長	田 淵 功 た ぶ いきお		出席	
計画作成者	京都府建設交通部	交通政策課長	笹 井 淳 ささ い あつし		出席	
	京都府南丹広域振興局	地域連携・振興部 企画・連携推進課長	小石 直生 こいし なおき		代理出席	企画・連携推進課奈良主幹
	京都府中丹広域振興局	地域連携・振興部 企画・連携推進課長	福井 あゆみ ふくい あゆみ		代理出席	企画・連携推進課高屋課長補佐
	綾部市	市民環境課部長	田中 恵美 たなか えみ		出席	
	南丹市	地域振興課部長	岡部 哲使 おかべ さとし		出席	
	京丹波町	企画情報課長	堀 友輔 ほり ゆうすけ		代理出席	企画情報課伴田係長

JR山陰本線(園部～綾部)沿線地域公共交通活性化協議会(第27回)配席図

日時:令和7年1月22日(水) 15:30～
場所:南丹市園部文化会館「アスエルそのべ」3階大研修室



園福線の利用状況について

1. 運行までの経過

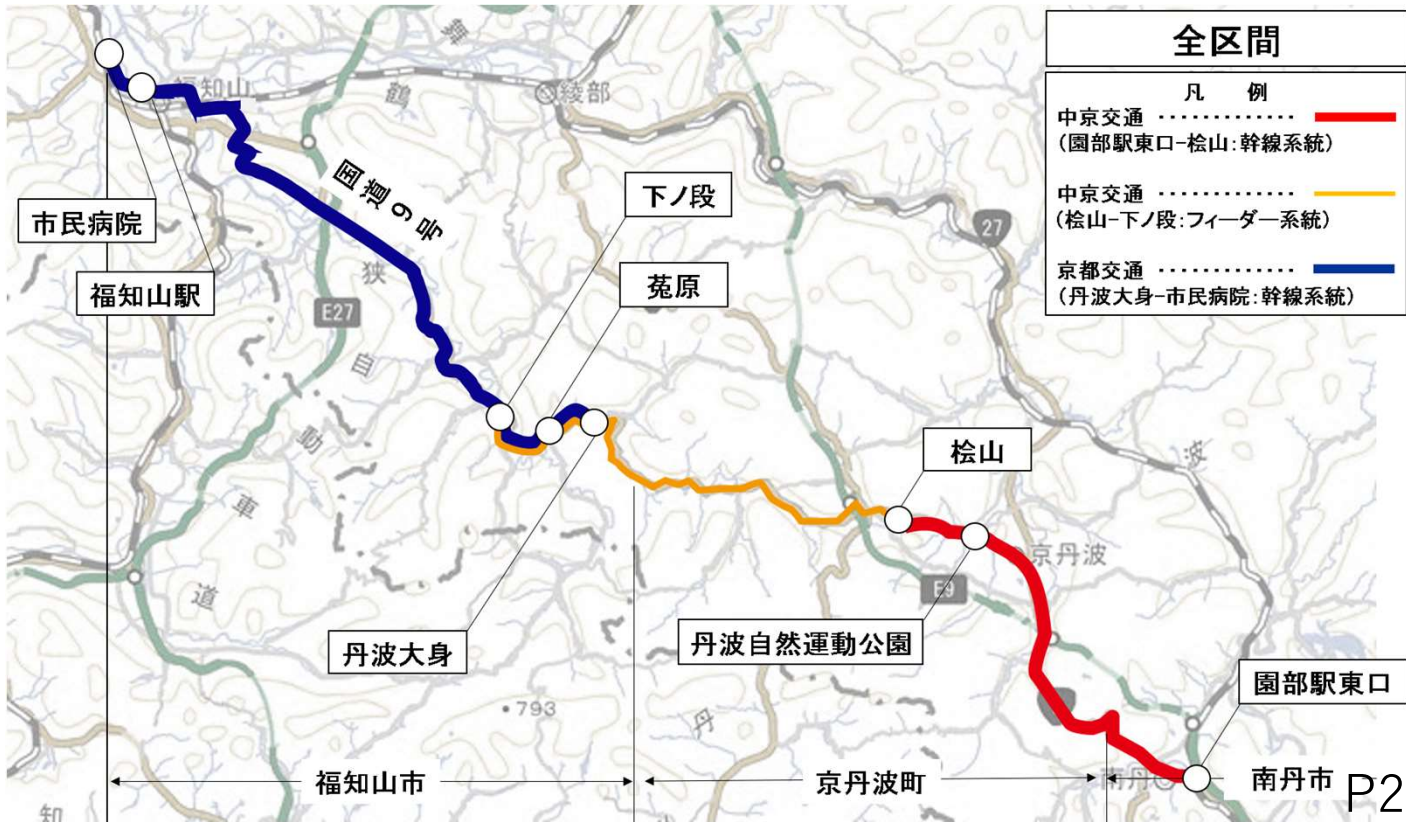
年月	内容
R4.12	本協議会において、「地域旅客運送サービス継続事業」を地域公共交通計画に位置付けて、園福線の運行を継続していくことで合意
R5.3	・「地域旅客運送サービス継続事業実施方針（案）」及び「公募要領（案）」の承認 ・公募の実施（3/23～4/21）
R5.5	運行予定事業者の選定
R5.11	・本協議会で「地域旅客運送サービス継続実施計画最終案」の承認 ・府・沿線市町で「地域旅客運送サービス継続実施計画」を作成
R5.12	府・沿線市町から、「地域旅客運送サービス継続実施計画」を国土交通大臣へ申請
R6.3	近畿運輸局長が「地域旅客運送サービス継続実施計画」を認定
R6.4	(有)中京交通による運行を開始

2. 運行概要

系統	系統名	起点～終点	距離	運行回数	車両
地域間幹線系統	園福線[60]	園部駅東口～ ～自然運動公園前～桧山	17.0km	9回	大型2台
	園福線[65]	園部駅東口～自然運動公園～自然運動公園前～桧山	18.2km	1回	中型2台
地域内フィーダー 系統	園福線[70]	桧山～丹波大身～菟原	13.9km	3回	中型1台
	園福線[80]	桧山～丹波大身～菟原～下ノ段	18.4km	2回	

事業概要

- 運行開始 令和6年4月1日～
- 運行路線 右図のとおり
- 運行日 毎日
- 運行時間帯 6時台～20時台
- 運賃 50円単位のわかりやすい運賃体系
- 支払方法 現金、ICカード、定期券等



3. 運行開始に向けた取組

① 利便性向上の取組

- 運賃の値下げ
運賃について、現行の10円単位から50円単位のわかりやすい運賃体系に変更するとともに、全区間で運賃を引き下げ、沿線住民の利用拡大や高校へ通学する生徒などへの負担軽減を図った。

(例)
園部駅東口～福知山駅間 1,800円 (▲370円)、園部駅東口～桧山間 600円 (▲210円)
桧山～菟原間500円 (▲180円) 菟原～福知山駅間700円 (▲240円)
- 昼間帯の往復2便増便(全日)
西日本ジェイアールバス(株)が運行していなかった時間帯(10時～12時)に便数を上下2本増便し、利便性向上と新たな需要の掘り起こしを図った。
- 商業施設への乗り入れ
ミニフレッシュ三和店前へのバスの乗り入れを行うことで、地元住民の利便性向上を図った。
- バスロケーションシステムの導入
園福線の全区間において、バスの現在走行位置や停留所にバスが到着するまでの時間をスマートフォンなどを通じて確認することができるようにすることで、利用者の利便性向上を図った。
- 車両更新
園福線運行にあたり新車5台を購入し、利用者に快適な車内空間を提供した。



② サービス維持の取組

- 京都交通、JR山陰本線との接続
JR山陰本線とは、引き続き、ダイヤの接続を確保した。京都交通とは、菟原で乗り継ぎができるよう、可能な限りダイヤ接続を調整し、円滑な乗り継ぎを確保した。
- ICカード利用
西日本ジェイアールバス(株)が運行していた時と同様に利用者のスムーズな乗降が可能になるよう、ICカード機器を導入した。

4. 利用状況(2024年 4-9月)

	利用者数 (トータル)	利用者数 (1日あたり)	(対前年同期比)
幹線系統 園部駅－桧山	33,026人	180.5人/日 (JRバス前年実績：181.6人/日)	▲0.6% (▲1.1人/日)
フィーダー系統 桧山－下ノ段	4,359人	23.8人/日	—

※西日本ジェイアールバスは、同区間のみの利用者データが無く、比較できない。

- 幹線系統については、令和6年(2024年)4月の運行事業者変更後も、前事業者と同水準の利用があり、地域の旅客運送サービスを継続できている。(1便あたり：約9.0人)
- フィーダー系統については、国庫補助基準の利用者数(1便1人以上)を確保できているが、今後の利用動向について、注視していく必要。(1便あたり：約2.4人)

4. 利用状況等(フィーダー系統の通学利用)

■ 瑞穂小学校・瑞穂中学校（最寄りバス停：桧山）

	令和 5 年度		令和 6 年度	
	生徒数	利用者	生徒数	利用者
小学生	1 3 0 人	1 8 人	1 1 4 人	1 8 人
中学生	5 1 人	7 人	5 1 人	4 人
合計	1 8 1 人	2 5 人	1 6 5 人	<u>2 2 人</u>

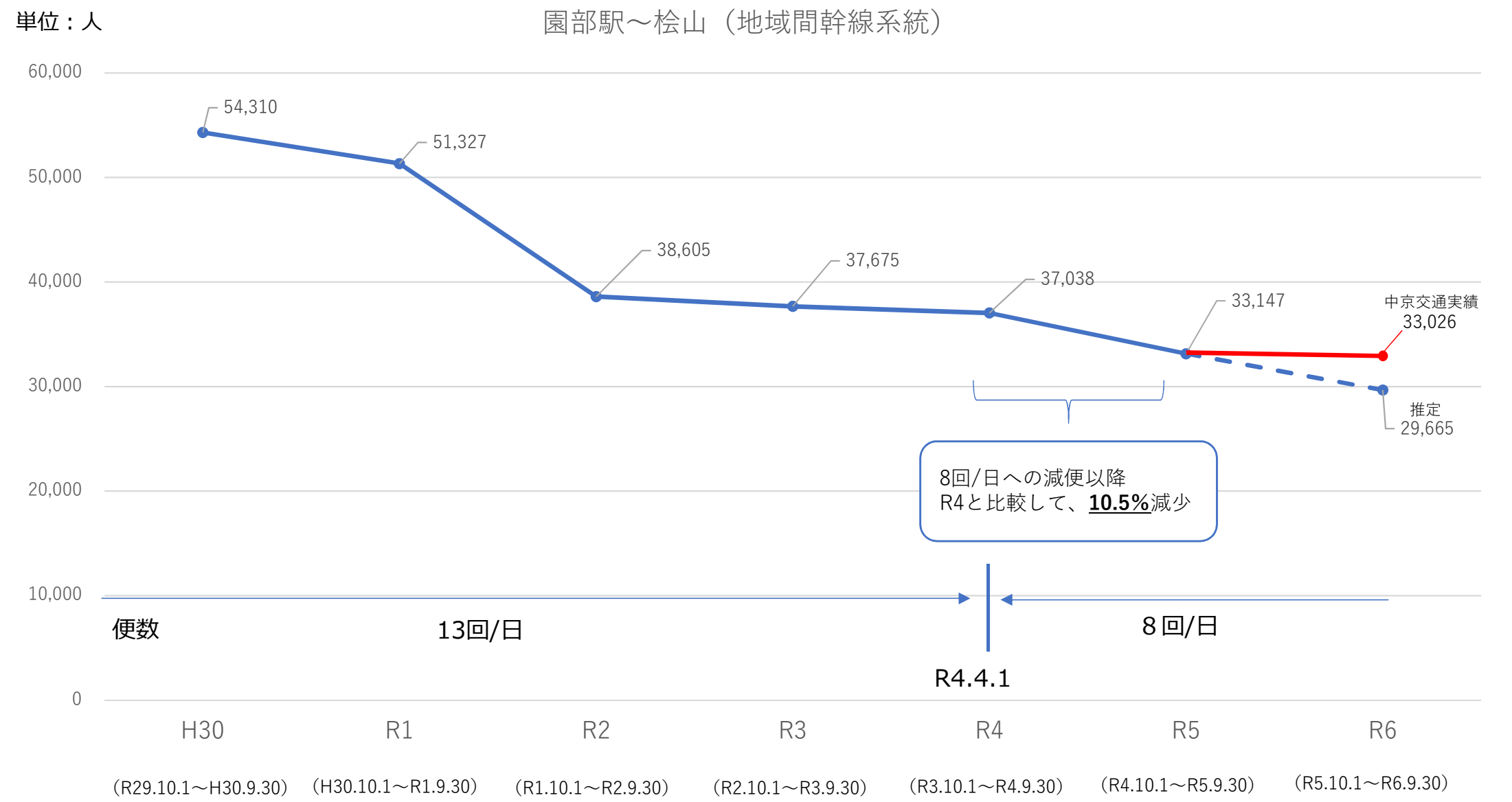
■ 福知山高校三和分校（最寄りバス停：下ノ段）

	令和 5 年度		令和 6 年度	
	生徒数	利用者	生徒数	利用者
1 年生	1 4 人	2 人	1 7 人	—
2 年生	9 人	—	1 2 人	2 人
3 年生	1 2 人	1 人	9 人	—
4 年生	6 人	—	1 0 人	1 人
合計	4 1 人	3 人	4 8 人	<u>3 人</u>

- フィーダー系統（桧山－下ノ段）について、地域の小・中・高生の通学手段として、引き続き利用されており、地域の教育の機会確保に貢献している。

4. 利用状況等

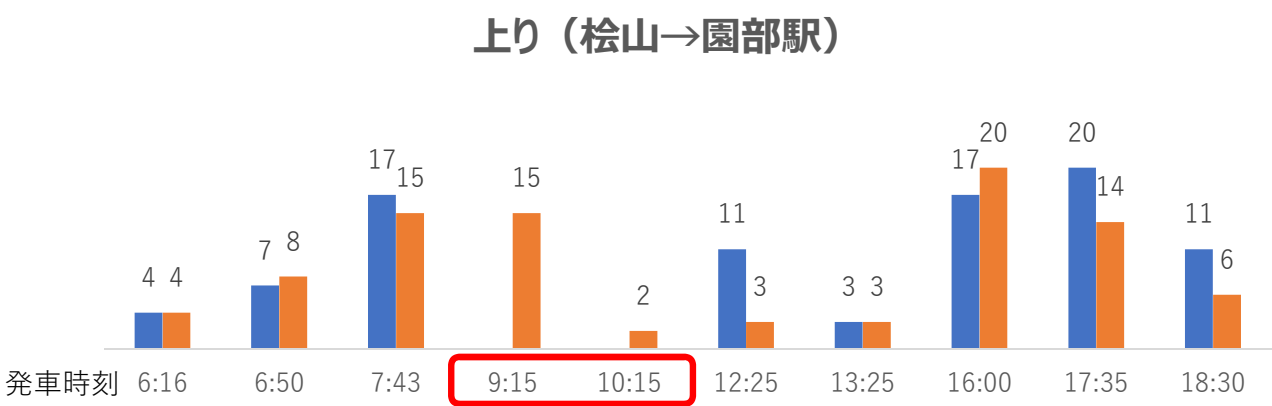
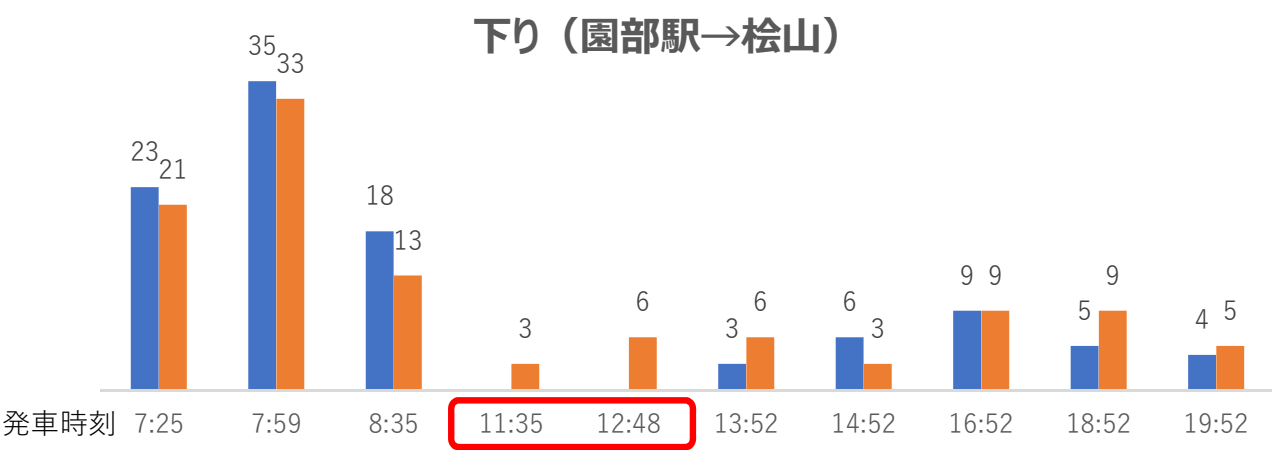
西日本ジェイアールバス 輸送人員推移



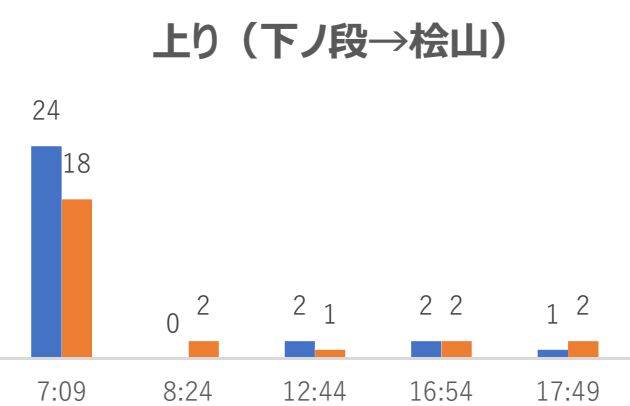
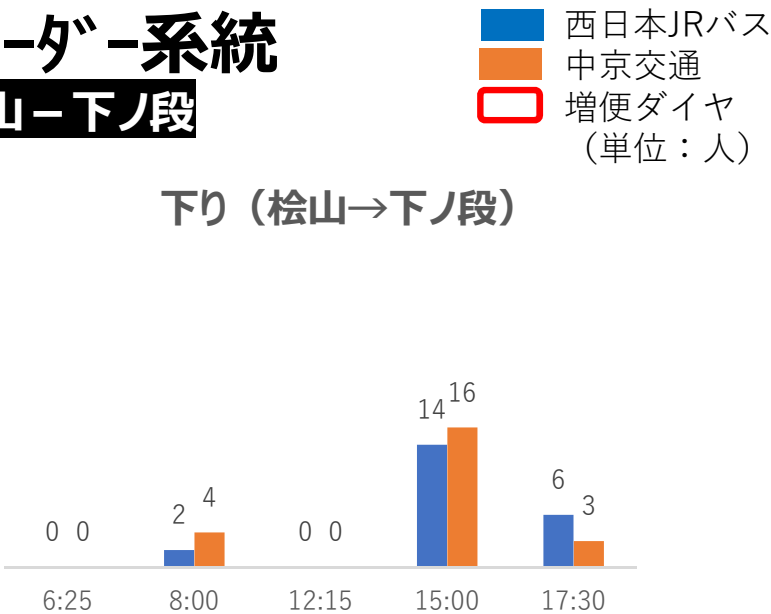
※西日本ジェイアールバスの年間利用者数の2分の1で算出

4. 利用状況等(便別の利用者数比較)

幹線系統 園部駅－桧山



フィーダー系統 桧山－下ノ段



※西日本JRバスの乗降調査結果（R5.6.20(火)）と中京交通（R6.6.18(火)）の同曜日、同天候（くもり）の1日乗降データを比較

- 各便とも、概ね同等の利用状況。運行事業者変更後も、通勤・通学にご利用いただけている。
- 増便ダイヤにも利用があることから、旅客需要があり、利便性向上が図られている。

4. 利用状況等(利便性向上の取組:商業施設への乗り入れ)

桧山～下ノ段（地域内フィーダー系統） 新設バス停（ミニフレッシュ三和店前）の利用状況

	桧山→ミニフレッシュ三和店前→下ノ段			
	8:27		15:27	
	降車	乗車	降車	乗車
6月	2人	0人	19人	5人
7月	1人	0人	5人	0人
8月	1人	0人	0人	0人
9月	2人	0人	3人	0人
合計	6人	0人	27人	5人

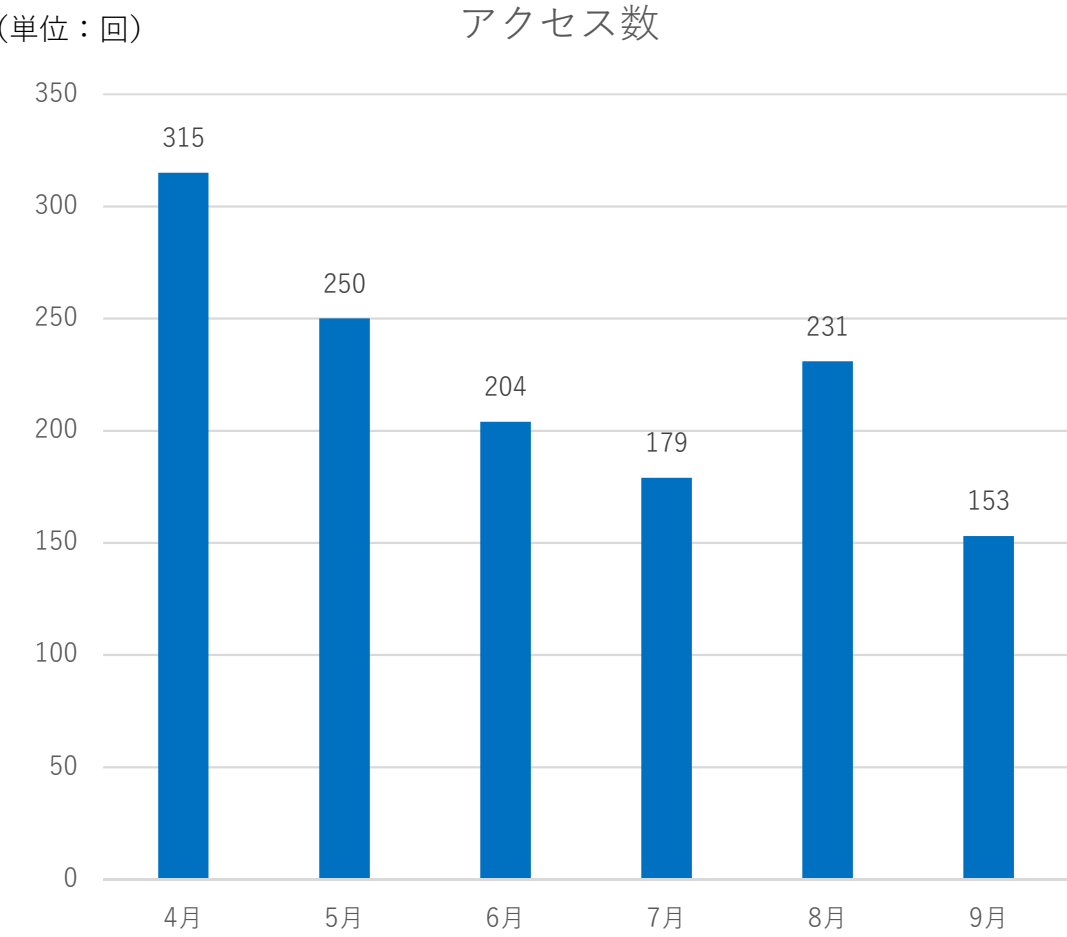
	下ノ段→ミニフレッシュ三和店前→桧山			
	8:42		16:56	
	降車	乗車	降車	乗車
6月	0人	0人	0人	1人
7月	0人	1人	0人	0人
8月	0人	5人	0人	0人
9月	0人	1人	0人	1人
合計	0人	7人	0人	2人

※ 4月～5月分については、「AIカメラ」の試用期間中であったため、データがない

- 新設バス停（ミニフレッシュ三和店前）について、一定数の利用が見受けられる。
（参考）ミニフレッシュ三和店営業時間：7:00～22:00

4. 利用状況等(利便性向上の取組:バスロケーションシステムの導入)

バスロケーションシステムの利用状況



- 中京交通が新規導入したため、従前とは比較できないところであるが、毎月一定数のアクセスがある。(月150回以上のアクセス)
- 園福線（園部駅東口～下ノ段）の利用者総数37,385人に対して、アクセス総数が1,332回であり、更なる利用を促進するため、周知活動の徹底やバス車内やバス停において、より効果的な宣伝方法を検討する。

近くのバス停はどこ？

バス、いつ来る？

バス、いまどこ？

リアルタイムで！

バスの現在地がわかる

園福線をご利用の方に

バスロケーションシステム

バス予報

アプリご利用は無料

バス予報

ちかくのバス停

バス停からさがす

路線からさがす

お気に入り

検索りれき

時刻表

1 ちかくのバス停で

いつバスが来るかを確認できます！

2 バス停からさがすで

利用したいバス停をすぐに検索できる！

3 路線からさがすで

路線からバスを探すことができます！

4 お気に入りに登録で

ご利用のバス停や路線をすぐに確認！

5 検索りれきで

利用したバスの履歴が確認できる！

1 超簡単！「ちかくのバス停」から最短3タップでバスの現在地がわかります！

ご利用のバス停をタップ

「バスいまどこ？」をタップ

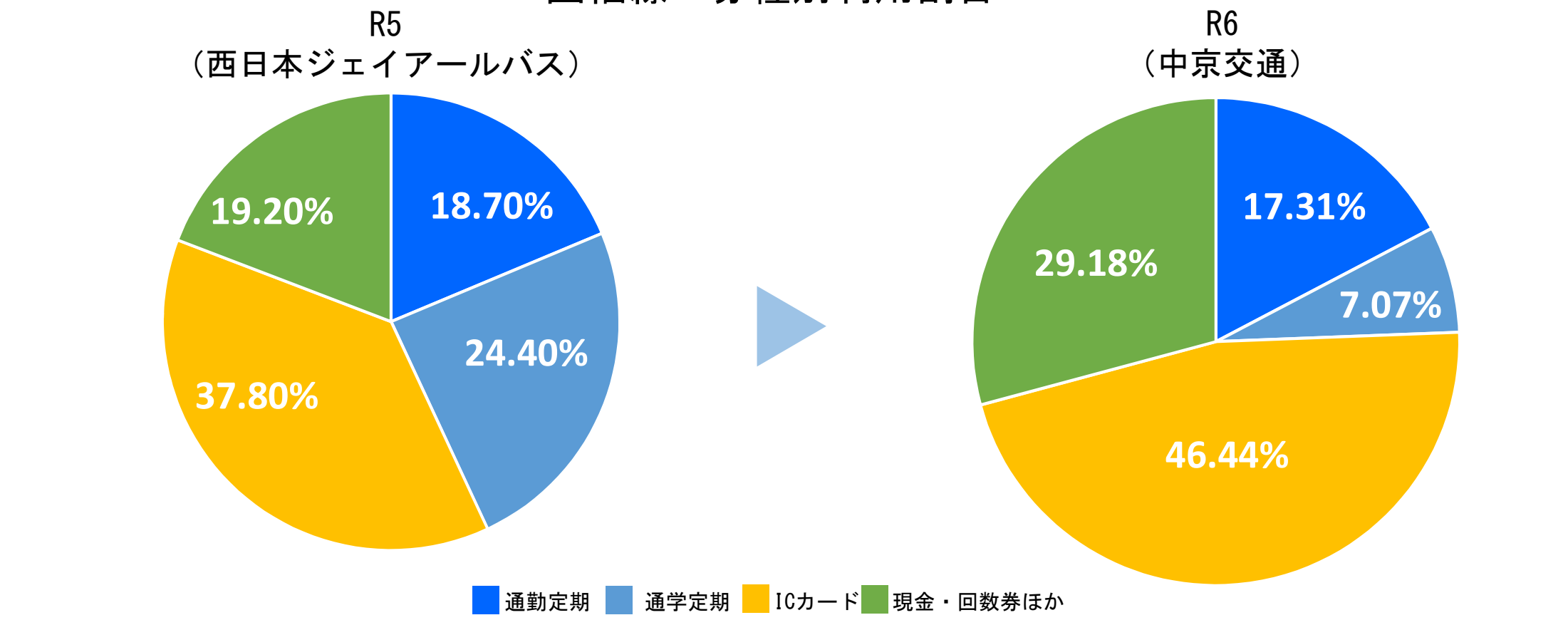
バスの現在地がわかる！！

地図上で現在地がわかる！！

ほかにも便利な機能がたくさんあります！

4. 利用状況等(サービス維持の取組:ICカード利用)

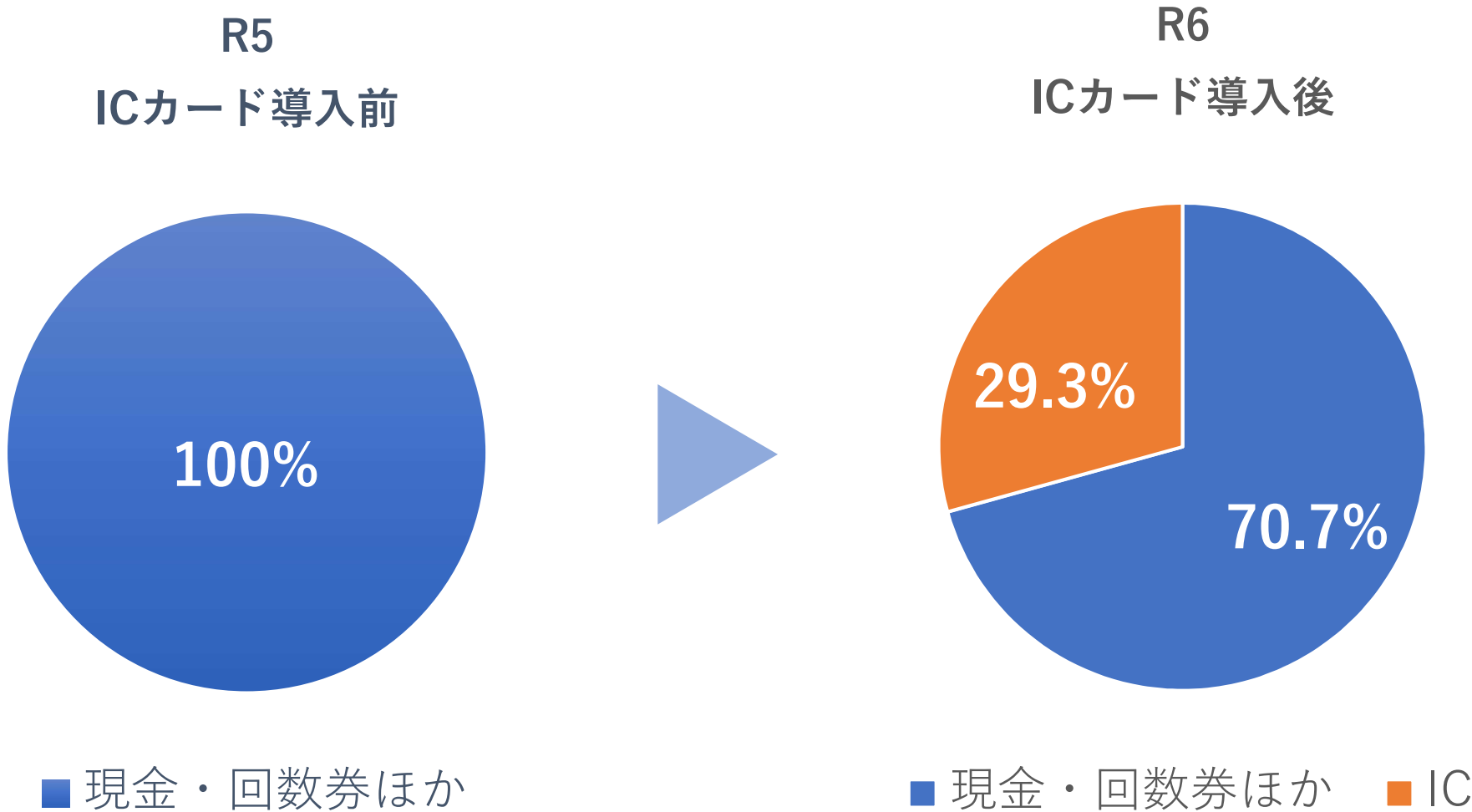
園福線 券種別利用割合



- 通勤定期は横ばい
 - 通学定期は減少 (24.40% → 7.07% ▲約17%)
 - ICカード利用は増加 (37.80% → 46.44% +約9%)
 - 現金・回数券は増加 (19.20% → 29.18% +約10%)
- 新たに令和6年4月から須知高校の生徒向けに通学回数券を販売(500円区間を400円×10枚で販売)
通学回数券が新設され、通学定期券よりも通学回数券を購入して、通学する生徒が増加したと推察。
(参考:通学定期及び回数券比較 園部駅東口～須知高校間)
- ・通学定期券(1か月) 18,000円
 - ・通学回数券(10枚) 4,000円 → 1か月20日登校換算で16,000円(400円/枚×20日×2回)

4. 利用状況等

参考：ぐるりんバスICカード利用実績

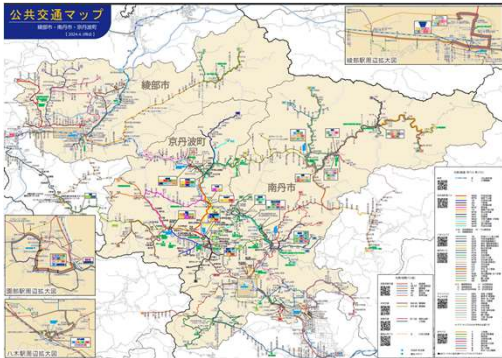


- 中京交通運行の南丹市のコミュニティバス（ぐるりんバス）について、令和6年4月からICカード機器を導入した。
- 直近の実績データから利用者数の約3割近くがICカードに移行している。

※円グラフの数値は令和6年12月の実績と前年同月を比較したもの
全利用者数：6,576人
IC利用者： 1,930人

5. 生産性の向上(利用促進)の取組、結果①

令和6事業年度（R6.4.1～R6.9.30）に生産性向上のために取り組んだ事業と結果
（令和6年3月8日付け地域公共交通計画認定申請書に係る「JR山陰本線(園部～綾部)沿線地域公共交通計画（別紙）」に記載した内容）

取組	評価	結果																		
地域公共交通に関する総合時刻表・交通マップの作成（R6.4実施）	○	綾部市、南丹市及び京丹波町の公共交通を網羅的に掲載したマップを作成し、本協議会のHPに掲載。合わせて各時刻表へのリンクをHPに掲載  (凡例抜粋) <table><tr><th colspan="2">凡例(民間バス他)</th></tr><tr><td>京阪京都交通</td><td>3 国道路線</td></tr><tr><td></td><td>40-47 八田線・高田線</td></tr><tr><td></td><td>44 園部線</td></tr><tr><td></td><td>46 園部八木線</td></tr><tr><td></td><td>41 神吉線</td></tr><tr><td></td><td>43 原神吉線</td></tr><tr><td>中京交通</td><td>E60-65 園福線</td></tr><tr><td></td><td>E70-80 園福線</td></tr></table>	凡例(民間バス他)		京阪京都交通	3 国道路線		40-47 八田線・高田線		44 園部線		46 園部八木線		41 神吉線		43 原神吉線	中京交通	E60-65 園福線		E70-80 園福線
凡例(民間バス他)																				
京阪京都交通	3 国道路線																			
	40-47 八田線・高田線																			
	44 園部線																			
	46 園部八木線																			
	41 神吉線																			
	43 原神吉線																			
中京交通	E60-65 園福線																			
	E70-80 園福線																			
バス停名称統一、バスナンバリングの導入等（R6.4実施）	○	・丹波自然公園内停留所の名称について、園福線（丹波公園センター）と京丹波町町営バス（自然運動公園）で異なっていたものを「丹波自然運動公園」に統一 ・丹波自然公園前停留所の名称について、同様に「丹波自然運動公園前（京丹波町役場前）」に統一 ・園福線に新たな系統番号を付与。 地域間幹線系統を [E60] [E65]、地域内フィーダー系統を[E70] [E80] 																		

P12

5. 生産性の向上(利用促進)の取組、結果②

令和6事業年度（R6.4.1～R6.9.30）に生産性向上のために取り組んだ事業と結果
(令和6年3月8日付け地域公共交通計画認定申請書に係る「JR山陰本線(園部～綾部)沿線地域公共交通計画（別紙）」に記載した内容)

取組	評価	結果
駅・バス停での観光案内、乗換案内の充実（R6.4実施）	○	JR園部駅改札にて、バスの乗換が円滑に進むよう乗り場への誘導サインを設置
駅から出発する交通手段等の多言語表記化（R6.4実施）	○	上記サインに、英語、中国語、韓国語も併せて記載
区域内の公共交通等が利用できるフリーチケットの導入	×	当該事業年度中には実施できなかったが、次事業年度以降、沿線の施設と連携したフリーチケットの導入を検討
交通系ICカードシステムの拡充（R6.4実施）	○	運行事業者変更後も利用者の利便性を維持するため、ICカード機器を導入
鉄道とバス、バス同士のダイヤ調整（R6.4実施）	○	・JRの発着時刻に併せてバスダイヤの調整。 ・園福線の両事業者間において菟原で乗り継ぎができるようダイヤ調整

対前事業年度比ではほぼ同じ利用者数は維持しているが、引き続き、利用者増加に向けた取組みや利便性向上に向けた取組み、利用拡大を図っていく必要がある。

6. 今後の取組について

課題

1. 利用者増加に向けた取組み

2. 利便性向上に向けた取組み

3. データ活用による今後の改善の検討

対策 令和7事業年度（R6.10.1～R7.9.30）

- PRの充実（継続）
協議会HP、市町ホームページ・広報誌・SNS等のPR媒体を活用した周知
 - バス時刻表の配布（継続）
南丹市は全戸配布、京丹波町は役場及び町内主要施設で配架
 - バスの利用方法、利便性のPR（継続）
モビリティマネジメント（バスの乗り方教室の開催等）の実施を通じて、バスの便利さや移動手段としての重要性を地元住民に啓発する活動を実施
 - キャンペーンの実施（新規）
沿線の施設と連携した企画乗車券の発売に向けた調整
 - 高齢者運転免許証自主返納等支援事業の実施（継続）
「路線バス利用券」若しくは「ICOCAカード」1万円分（デポジット含む）を返納特典として交付
 - 利用状況等に関する調査（継続）
沿線の地区（小学校区単位）毎に、利用状況等の意見調査を実施
 - 沿線の観光地情報やバスを利用したアクセス方法の発信（新規）
-
- 鉄道とバス、バスとバスの接続時刻調整（継続）
 - バス情報を検索しやすい工夫（継続）
バス時刻表の検索など、目的の情報サイトが検索の上位に表示されるような方法の検討・実施
 - 計画区域を運行するバスの路線情報について、WESTER等の検索サービスから検索できるよう調整（新規）
-
- AIカメラのデータ分析（新規）
AIカメラの導入により、便ごと・バス停ごとの乗降人数が把握できるようになったため、利用状況に沿った最適な経路やダイヤの再編などの改善が図られるようデータを活用していく。

議題第 2 号

令和 6 事業年度地域公共交通確保維持事業の事業評価について

有限会社中京交通が運行している園福線の令和 6 事業年度（R6. 4. 1～R6. 9. 30）の地域公共交通確保維持改善事業について、当該自己評価の結果報告として、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価実施細目に定められている様式（別添 1、別添 1－2）及び近畿様式を近畿運輸局長へ提出してよろしいか。

提出資料一覧

- ・ 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価実施細目に定められている様式

別添 1（地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業））

別添 1－2（事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について）

- ・ 近畿様式

(案)

資料 2－1

7 山地協第 号
令和 7 年 月 日

近畿運輸局長 様

氏名又は名称 JR 山陰本線（園部～綾部）
沿線地域公共交通活性化協議会

住 所 京都府京都市上京区下立売通
新町西入藪ノ内町

代表者氏名 会長 加藤博和

地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について（報告）

別添のとおり地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行いましたので、報告します。

資料 2 - 2 - 1

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月22日

協議会名:JR山陰本線(園部～綾部)沿線地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金及び地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
JR山陰本線(園部～綾部)沿線 地域公共交通活性化協議会 (運行事業者:(有)中京交通)	■地域間幹線系統 ・園福線の運行 毎日運行 ・運行経路 園福線(園部駅東口～松山)	・西日本ジェイアールバスが 運行していた路線を引き継 ぎ、令和6年4月から運行を 開始した。 ・前回までの西日本ジェイ アールバスの評価結果等に ついては、沿線自治体との 連携を深めながら公共交通 の利便促進を目的としたイベ ント等への積極的参画やバ スの乗り方教室などの実施 に向けて沿線市町と連携し、 当該路線のPR及び利用促 進に務めており、中京交通運 行後も関係者と連携して、PR 等に取り組んだ。	A 計画通り事業は適切に実施 された。	B ・バス路線収支率 目標 44.60%(R8) 実績 23.61%(R6半期) ・利用者数 目標 82,276人(R8) 実績 33,026人(R6半期) ・利用者あたりの公的資金 投入額 目標 347.3円(R8) 実績 - (R6半期)	沿線地域では、人口減少と高齢 化が進んでおり、これからも地域 の公共交通を守り、子どもからお 年寄りまで全ての住民が安全安 心で豊かに生活でき、子育てしや すい、地域間の交流がしやすい、 観光客が来訪したい、移住者が 移り住み続けたいまちづくりを支 援する公共交通の実現をするた めに、運行事業者及び沿線自治 体と連携して利用促進に取り組む とともに、国・府の新たな補助制 度の活用し、行政負担の軽減を 図りつつ、路線の維持、利便性向 上・利用拡大の取組を進めてい く。
JR山陰本線(園部～綾部)沿線 地域公共交通活性化協議会 (運行事業者:(有)中京交通)	■地域内フィーダー系統 ・園福線の運行 毎日運行 ・運行経路 園福線(松山～下ノ段)	・西日本ジェイアールバスが 運行していた路線を引き継 ぎ、令和6年4月から運行を 開始した。 ・前回までの西日本ジェイ アールバスの評価結果等に ついては、沿線自治体との 連携を深めながら公共交通 の利便促進を目的としたイベ ント等への積極的参画やバ スの乗り方教室などの実施 に向けて沿線市町と連携し、 当該路線のPR及び利用促 進に務めており、中京交通運 行後も関係者と連携して、PR 等に取り組んだ。	A 計画通り事業は適切に実施 された。	B ・バス路線収支率 目標 16.20%(R8) 実績 8.57%(R6半期) ・利用者数 目標 21,939人(R8) 実績 4,359人(R6半期) ・利用者あたりの公的資金 投入額 目標 903.4円(R8年) 実績 - (R6半期)	沿線地域では、人口減少と高齢 化が進んでおり、これからも地域 の公共交通を守り、子どもからお 年寄りまで全ての住民が安全安 心で豊かに生活でき、子育てしや すい、地域間の交流がしやすい、 観光客が来訪したい、移住者が 移り住み続けたいまちづくりを支 援する公共交通の実現をするた めに、運行事業者及び沿線自治 体と連携して利用促進に取り組む とともに、国・府の新たな補助制 度の活用し、行政負担の軽減を 図りつつ、路線の維持、利便性向 上・利用拡大の取組を進めてい く。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 7 年 1 月 22 日

協議会名：	JR山陰本線(園部～綾部)沿線地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域間幹線系統確保維持費国庫補助金及び地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	JR 山陰本線(園部～綾部)沿線地域は、自動車利用を前提としたライフスタイルが定着し、自動車を利用できない住民にとっては、暮らしにくい状況となっているとともに、公共交通のサービスレベルが十分ではない地域や時間帯があり、通勤・通学・通院等の外出先を自由に選択できない点や、後期高齢者の増加に比例して高齢ドライバーも増加することから地域の暮らしの安全確保が問題となっている。また、移動手段や暮らしの安全の確保だけでなく、まちづくりや子育て施策等と連携した取組が必要である。 そのため、JR 山陰本線の複線化を視野に、鉄道を中心とする沿線全体の公共交通サービスの改善を検討する。将来のまちづくりを実現する地域公共交通サービスの充実等により、子どもからお年寄りまで全ての住民が安全安心で豊かに生活でき、子育てしやすい、地域間の交流がしやすい、観光客が来訪したい、移住者が移り住み続けたいまちづくりを支援する公共交通の実現を目指す。 【基本方針】 1. 地域公共交通の重要性に関する認識をあらゆる主体・地域で共有し、協働して支え育む活動を活発化することで、地域公共交通システムを持続可能とする。 2. JR山陰本線(園部～綾部)の複線化を視野に、まずコロナ禍等での減便からの回復を目指し、沿線全体の公共交通サービスを改善することで利用者数を増やす。 3. 高校生・高齢者を主なターゲットに、自家用車に頼らなくても通勤・通学・買い物・通院でき、「健幸」に暮らせる地域を目指す。 4. 鉄道駅・主要バス停の乗継利便性や待合快適性を高め、安心感があり立ち寄りたくなる拠点へと変え、地域内外の交流を促進する。 5. 案内強化やMaaS等によって公共交通を分かりやすくし、一体化を進めることで使いやすさを向上させ、特に観光での移動を便利で快適にする。 6. まちづくりと連携した公共交通サービス改善によって「おでかけ」したくなる地域とすることで、コロナ禍を乗り越え、人口減少特に若年層の流出を食い止める。 【将来像】 安全安心で豊かな暮らしの基盤となり、交流と定住を促進する「森の京都『おでかけ』システム」の実現 【計画区域】 綾部市、南丹市、京丹波町の 2 市 1 町からなる地域とし、JR 山陰本線の園部駅～綾部駅間に関連する区域 【計画期間】 おおよそ 10 年後(令和 13 年度)の将来を見据えつつ、令和 4 年度から 8 年度までの 5 年間の計画とする。

JR 山陰本線（園部～綾部）沿線地域公共交通活性化協議会 （ネットワーク全体の評価）

1. 協議会が目指す地域公共交通の将来像

公共交通の将来像

JR 山陰本線（園部～綾部）沿線地域は、自動車利用を前提としたライフスタイルが定着し、自動車を利用できない住民にとっては、暮らしにくい状況となっているとともに、公共交通のサービスレベルが十分ではない地域や時間帯があり、通勤・通学・通院等の外出先を自由に選択できない点や、後期高齢者の増加に比例して高齢ドライバーも増加することから地域の暮らしの安全確保が問題となっている。また、移動手段や暮らしの安全の確保だけでなく、まちづくりや子育て施策等と連携した取組が必要である。

そのため、JR 山陰本線の複線化を視野に、鉄道を中心とする沿線全体の公共交通サービスの改善を検討する。将来のまちづくりを実現する地域公共交通サービスの充実等により、子どもからお年寄りまで全ての住民が安全安心で豊かに生活でき、子育てしやすい、地域間の交流がしやすい、観光客が来訪したい、移住者が移り住み続けたいまちづくりを支援する公共交通の実現を目指す。

●基本方針

1. 地域公共交通の重要性に関する認識をあらゆる主体・地域で共有し、協働して支え育む活動を活発化することで、地域公共交通システムを持続可能とする。
2. JR 山陰本線（園部～綾部）の複線化を視野に、まずコロナ禍等での減便からの回復を目指し、沿線全体の公共交通サービスを改善することで利用者数を増やす。
3. 高校生・高齢者を主なターゲットに、自家用車に頼らなくても通勤・通学・買い物・通院でき、「健幸」に暮らせる地域を目指す。
4. 鉄道駅・主要バス停の乗継利便性や待合快適性を高め、安心感があり立ち寄りたくなる拠点へと変え、地域内外の交流を促進する。
5. 案内強化や MaaS 等によって公共交通を分かりやすくし、一体化を進めることで使いやすさを向上させ、特に観光での移動を便利で快適にする。
6. まちづくりと連携した公共交通サービス改善によって「おでかけ」したくなる地域とすることで、コロナ禍を乗り越え、人口減少特に若年層の流出を食い止める。

●将来像 安全安心で豊かな暮らしの基盤となり、交流と定住を促進する
「森の京都『おでかけ』システム」の実現

●計画区域 綾部市、南丹市、京丹波町からなる地域とし、JR 山陰本線の園部駅～綾部駅間に関連する区域

●計画期間 おおよそ 10 年後（令和 13 年度）の将来を見据えつつ、令和 4 年度から 8 年度までの 5 年間の計画とする。

公共交通ネットワークのイメージ図

※別添資料 1 参照

2. 目標設定及びその達成状況の評価に関する事項

目標の実現、施策の継続的な実施に向けて、2市1町の関係者及び区域の公共交通事業者、住民など、様々な関係者が連携し、総合的な取組として進める。

<協議会の役割>

計画の評価、進捗管理は協議会が主体となって実行する

<各市町の役割>

各市町の地域公共交通会議等で事業の実施状況や評価等を協議し、協議事項等を本協議会へ共有する。

●計画の達成状況の評価する指標（基準値（令和元年度））⇒目標値（令和8年度）

※別添資料2 参照

（参考：園福線地域旅客運送サービス継続実施計画に係る数値目標は以下のとおり）

（バス路線収支率）

- ・園福線（園部～桧山）44.60%（R8年）、園福線（桧山～下ノ段）16.20%（R8年）
（利用者数）
- ・園福線（園部～桧山）82,276人（R8年）、園福線（桧山～下ノ段）21,939人（R8年）
（利用者あたりの公的資金投入額）
- ・園福線（園部～桧山）347.3円（R8年）、園福線（桧山～下ノ段）903.4円（R8年）

※計画本体、9.1数値目標の設定（P65～72）及び10.計画実施のための体制（P73）参照。測定手法については、毎年、交通事業者から利用者数、経常収益のデータを集計し、算出。

3. 目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容

(1) 取組経緯

●これまでの取組（実施中含む）

【計画策定】

- ・ JR 山陰本線(園部～綾部)沿線地域公共交通網形成計画（平成 29 年 3 月）
- ・ JR 山陰本線(園部～綾部)沿線地域公共交通計画（令和 4 年 3 月）
- ・ JR 山陰本線(園部～綾部)沿線地域公共交通計画（令和 5 年 11 月）
- ・ 園福線地域旅客運送サービス継続実施計画認定（令和 6 年 3 月）

【JR 山陰本線】

- ・ 胡麻駅の改修工事を実施（令和 5 年度：南丹市）
- ・ 山家駅入口の段差解消工事を実施（令和 5 年度：綾部市）
- ・ 「丹波モビリティフリーパス」の実施（令和 5 年 12 月～令和 6 年 1 月）

【園福線】

- ・ 西日本ジェイアールバス(株)が地域間幹線系統として運行（令和 6 年 3 月末）
- ・ 「丹波モビリティフリーパス」の実施（令和 5 年 12 月～令和 6 年 1 月）

【地域内交通（綾部市）】

①あやバス

- ・ 自家用車を持っていない高齢者や免許返納等により運転できない高齢者が、安心して買い物や通院等ができるように、平成 17 年 4 月から運行開始

【地域内交通（南丹市）】

①ぐるりんバス

- ・ 地域住民や来訪者を、主要鉄道駅である JR 園部駅や生活関連施設・住宅地への移動手段を確保するため、平成 17 年 4 月から運行開始

②南丹市営バス

- ・ 平成 18 年 1 月から運行開始

【地域内交通（京丹波町）】

①京丹波町町営バス

- ・ 自家用車を持っていない高齢者や免許返納等により運転できない高齢者が、安心して買い物や通院等ができるように、平成 18 年 5 月から運行開始

【その他】

- ・小中学生に対するモビリティマネジメントの実施
- ・中学3年生及び高校3年生及び保護者に対するモビリティマネジメントの実施
- ・免許証自主返納支援事業の継続実施
- ・新ダイヤ時刻表の全戸配布

●令和6事業年度の取組（令和5年10月1日～令和6年9月30日）

【園福線】

令和6年4月1日から西日本ジェイアールバス㈱に代わり、(有)中京交通が運行を開始。

概要

系統名	起点～終点	運行回数	車両
園福線[60]	園部駅東口～自然運動公園前～桧山	9	大型2台
園福線[65]	園部駅東口～自然運動公園～桧山	1	中型2台
園福線[70]	桧山～下大久保～菟原	3	中型1台
園福線[80]	桧山～下大久保・菟原～下ノ段	2	

※園福線[60] [65]は地域間幹線系統、園福線[70] [80]は地域内フィーダー系統

■運行路線

- ・路線の延伸（福知山駅～福知山市民病院間）や停留所の追加（ミニフレッシュ三和店前）

■運賃

- ・従前よりも運賃を値下げし、通学生などバス利用者の負担を軽減
- ・運賃体系を10円単位から50円単位へ変更し、全区間で運賃を値下げ

園部駅東口～福知山駅間(※)	2,170円→1,800円 (▲370円)
園部駅東口～桧山間	810円→600円 (▲210円)
桧山～菟原間	680円→500円 (▲180円)
菟原～福知山駅間	940円→700円 (▲240円)
福知山駅～市民病院間	(新設) 200円

(※) 桧山・菟原で乗り換えした場合の運賃

■運行本数

- ・園部駅東口～桧山間 上下各8本→上下各10本
(午前9時台～12時台で上下2本ずつ増)
- ・桧山～丹波大身間 上下各5本→上下各5本

(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等

補助対象事業

地域公共交通確保維持改善事業				
事業	実施主体	着手・実施期間	種別	事業概要
地域間幹線系統 確保維持費国庫 補助金	(有)中京 交通	R6. 4. 1～	幹	起終点の園部駅東口及び桧山では、鉄道や地域内交通と接続するなど、地域間幹線系統として、公共交通ネットワークを構築する上で特に重要な役割を担っている
地域内フィーダー系統確保維持 費国庫補助金	(有)中京 交通	R6. 4. 1～	フ	起終点の桧山～下ノ段では、地域拠点である桧山から周辺部の居住地や福知山高校三和分校等を結ぶ路線であり、地域の移動手段として役割を担っている。 また、桧山では地域間幹線系統への接続により、広域への移動も可能とするなど、地域内フィーダー系統として、幹線を補完している。

【種別】 幹：地域間幹線系統、フ：地域内フィーダー系統、策：計画策定事業、推：計画推進事業
利策：利便増進計画策定事業、利推：利便増進計画推進事業

その他補助事業			
事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要
車両減価償却費等 国庫補助金	(有)中京交通	R6. 2～	地域間幹線系統及び地域内フィーダー系統を運行する車両を5台購入。
バスカードシステム及びバスロケーション整備事業 (交通系ICカードシステムの拡充)	(有)中京交通	R5. 11. 8～ R6. 2. 20	園福線の運行を開始するにあたり、ICカード・バスロケーションシステムの導入費用を関係自治体が支援。合わせて、南丹市コミュニティバス（ぐるりんバス）にもICカードシステムを導入。

(3) 生産性向上の視点から取り組んだ事業

※「(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等」のうち、生産性向上を目指して取り組んだ事業について、その内容を記入して下さい。

※上記以外の事業においても、該当する事業・取組等があれば、その内容を記入して下さい。

事業	取組内容	効果目標
地域公共交通に関する総合時刻表・交通マップの作成	綾部市、南丹市及び京丹波町の公共交通を網羅的に掲載したマップを作成し、本協議会の HP に掲載。合わせて各時刻表へのリンクを HP に掲載。	利用者増加
バス停名称統一、バスナンバリングの導入	・丹波自然公園内停留所の名称について、園福線（丹波公園センター）と京丹波町町営バス（自然運動公園）で異なっていたものを「丹波自然運動公園」に統一 ・丹波自然公園前停留所の名称について、同様に「丹波自然運動公園前（京丹波町役場前）」に統一 ・園福線に新たな系統番号を付与。 地域間幹線系統を[E60][E65]、地域内フィーダー系統を[E70][E80]	利用者増加
駅・バス停での観光案内、乗換案内の充実	JR 園部駅改札にて、バスの乗換が円滑に進むよう乗り場への誘導サインを設置	利用者増加
駅から出発する交通手段等の多言語表記化	上記サインに、英語、中国語、韓国語も併せて記載	利用者増加
交通系 IC カードシステムの拡充	運行事業者変更後も利用者の利便性を維持するため、IC カード機器を導入	利用者増加
鉄道とバス、バス同士のダイヤ調整	JR の発着時刻に併せてバスダイヤの調整。また、園福線の両事業者間において菟原で乗り継ぎができるようダイヤ調整	利用者増加

4. 具体的取組に対する評価

【園福線の運行（地域間幹線系統及び地域内フィーダー系統）】

西日本ジェイアールバス(株)撤退後の園福線について、令和6年4月1日から(有)中京交通により、円滑な代替運行が行われ、計画どおり、運賃の値下げ、運行便数の増便、ICカード機器やバスロケーションシステムの導入などが行われ、事業が適切に実施された。

●乗車実績（令和6年4月1日～令和6年9月30日 毎日運行）

- ・地域間幹線系統にあたる園部駅東口～桧山間は33,026人
- ・地域内フィーダー系統にあたる桧山～下ノ段間は4,359人

※(有)中京交通が運行する園部駅東口～下ノ段間の利用者総数について、37,385人

（参考：西日本ジェイアールバス(株)との比較）

園部駅東口～桧山間（R5事業年度及びR6事業年度の半期比較）

R5 西日本ジェイアールバス(株) 33,147人/半期

(有)中京交通 33,026人/半期

●通学・通勤定期購入

・(有)中京交通の通勤・通学定期の購入状況から、引き続き、園福線の利用状況を確認できる。

●ICOCA利用

- ・西日本ジェイアールバスから利用の増加が見られる。

●通学利用（桧山～下ノ段間）

・引き続き、瑞穂小学校・瑞穂中学校、福知山高校三和分校までの移動手段として利用されている。

5. 自己評価から得られた課題と対応方針

課題	課題への対応方針
運行開始から利用促進に係る取組を実施してきたが、更なる利用者増加に向けて引き続き、利用促進を取り組んでいく必要がある。	●PR の充実 協議会 HP、市町ホームページ・広報誌・SNS等のPR媒体を活用した周知 ●バス時刻表の配布 南丹市は全戸配布、京丹波町は役場及び町内主要施設で配架 ●バスの利用方法、利便性のPR モビリティマネジメント（バスの乗り方教室の開催等）の実施を通じて、バスの便利さや移動手段としての重要性を地元住民に啓発する活動を実施 ●キャンペーンの実施 沿線の施設と連携した企画乗車券の発売に向けた調整 ●高齢者運転免許証自主返納等支援事業の実施 「路線バス利用券」若しくは「ICOCA カード」1万円分（デポジット含む）を返納特典として交付 ●利用状況等に関する調査 沿線の地区（小学校区単位）毎に、利用状況等の意見調査を実施 ●沿線の観光地情報やバスを利用したアクセス方法の発信
運行開始から利便性向上に向けた取組を実施してきたが、更なる利便性向上に向けて引き続き、利便性向上に取り組んでいく必要がある。	●鉄道とバス、バスとバスの接続時刻調整 ●バス情報を検索しやすい工夫 バス時刻表の検索など、目的の情報サイトが検索の上位に表示されるような方法の検討・実施 ●計画区域を運行するバスの路線情報について、WESTER等の検索サービスから検索できるよう調整
データ活用による今後の改善の検討をする。	●AI カメラのデータ分析 AI カメラの導入により、便ごと・バス停ごとの乗降人数が把握できるようになったため、利用状況に沿った最適な経路やダイヤの再編などの改善が図られるようデータを活用していく。

**JR 山陰本線（園部～綾部）沿線地域公共交通活性化協議会
（これまでの経緯）**

1. 昨年まで（直近）の二次評価の活用・対応状況

昨年まで（直近）の二次 評価における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 （具体的対応内容）	今後の対応方針

2. アピールポイント、特に工夫した点など

7.4 地域公共交通の位置づけと役割

目指すべき地域公共交通の将来像の実現に向けて、本計画で対象とする公共交通とその役割を次のように定める。

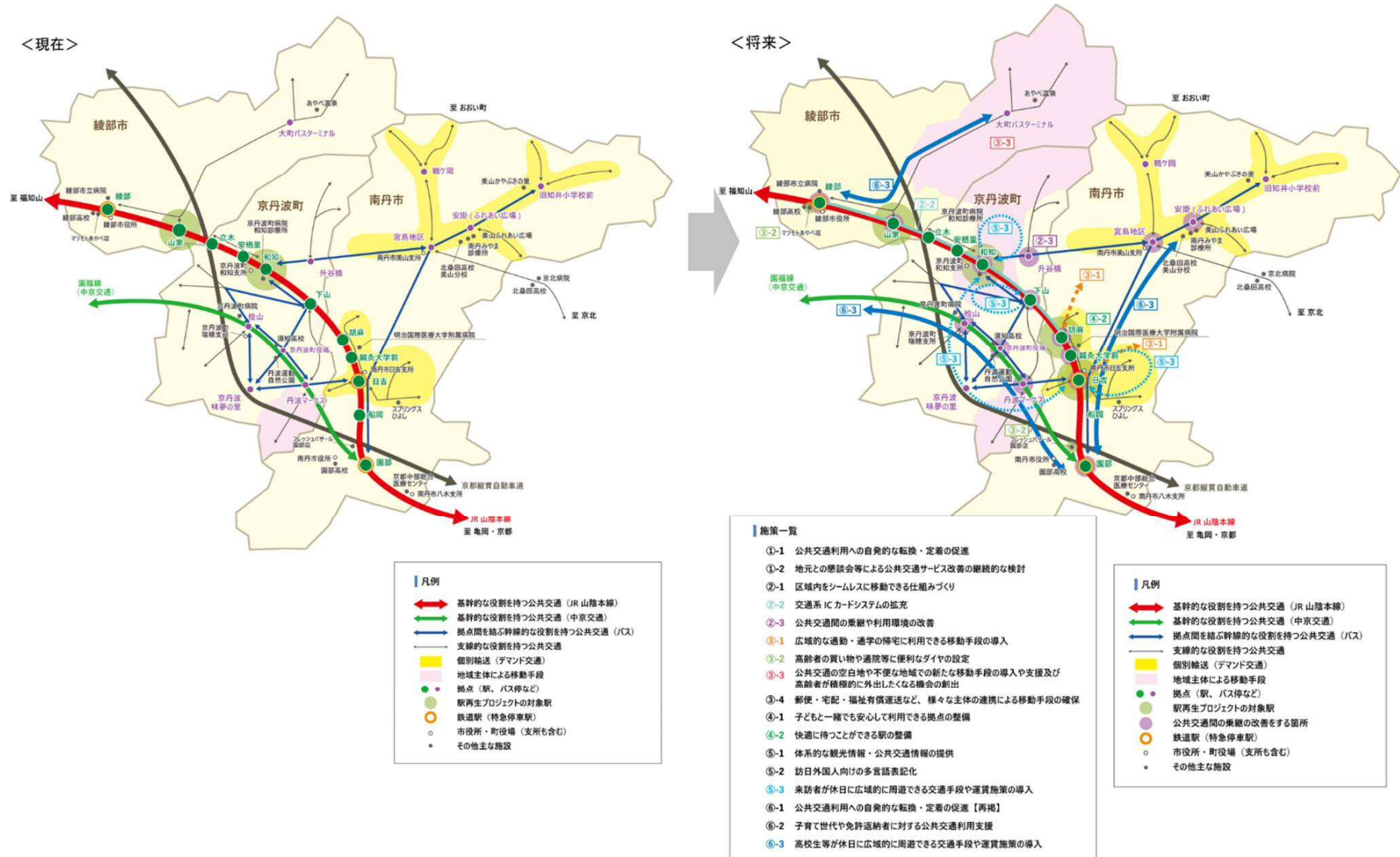


図 3 市町の公共交通体系の骨格イメージ (現在・将来)

計画の達成状況を評価する数値目標

基本方針①		地域公共交通の重要性に関する認識をあらゆる主体・地域で共有し、協働して支え育む活動を活性化することで、地域公共交通システムを持続可能とする		
評価指標		基準値 (R 1 年)	現況値 (R 2 年)	目標値 (R 8 年)
JR山陰本線(園部～綾部)の年間利用者数（人）		453,840	352,955	373,034
利用者あたりの 公的資金投入額(円/人)	あやバス	613.9	764.4	778.7
	南丹市営バス	1,302.2	1,888.3	1,659.8
	ぐるりんバス	1,230.2	1,342.2	1,521.1
	京丹波町営バス	829.7	1,064.5	1,047.9
	中京交通 園福線（園部駅東口～桧山）	-	-	347.3
	中京交通 園福線（桧山～下ノ段）	-	-	903.4

評価指標		バス路線の収支率(%)			(参考) 年間利用者数（人）		
		基準値 (R 1 年)	現況値 (R 2 年)	目標値 (R 8 年)	基準値 (R 1 年度)	現況値 (R 2 年度)	目標値 (R 8 年)
あやバス	上林線	26.01%	20.23%	21.57%	71,659	61,195	59,424
	於見市野瀬線	10.54%	8.59%	8.74%	6,790	5,745	5,631
南丹市営バス	知井線	4.44%	4.02%	3.66%	2,446	2,883	2,014
	佐々里・芦生線	0.43%	0.39%	0.36%	315	121	259
	大野線	4.62%	3.62%	3.80%	6,602	5,504	5,435
	鶴ヶ岡線	2.68%	2.42%	2.20%	3,473	2,761	2,859
	知見線（河内谷線込）	42.74%	38.64%	35.19%	46	153	38
	福居線	0.88%	1.03%	0.73%	129	254	106
	京北線	18.51%	16.74%	15.24%	13,431	10,285	11,058
	世木線	4.04%	3.65%	3.33%	5,576	3,183	4,591
	胡麻・志和賀線	6.40%	5.79%	5.27%	9,403	6,560	7,741
	五ヶ荘・美山園部線	37.63%	34.02%	30.98%	65,654	47,854	54,053
ぐるりんバス	摩気・園部東部線	9.23%	9.40%	7.60%	9,953	8,362	8,194
京丹波町営バス	丹波和知線	14.04%	10.00%	11.25%	34,031	26,175	27,276
	丹波桧山線	11.49%	6.85%	9.21%	16,304	13,388	13,068
	高原下山線	6.15%	6.04%	4.93%	18,187	16,043	14,577
	竹野線	5.81%	3.52%	4.65%	2,989	2,334	2,396
	質美線	5.99%	5.28%	4.80%	14,172	12,800	11,359
	小野鎌谷線	1.56%	0.91%	1.25%	16,216	12,143	12,997
	猪鼻戸津川線	1.85%	1.56%	1.48%	13,991	10,198	11,214
	仏主線	4.54%	4.45%	3.64%	7,574	5,366	6,071
	上乙見線	3.43%	2.32%	2.75%	4,237	3,616	3,396
	長瀬線	9.80%	6.64%	7.85%	6,074	5,328	4,868
	才原大簾線	3.21%	1.08%	2.58%	11,649	8,519	9,337
	桧山和知線	1.16%	1.37%	0.93%	453	443	363
	道の駅和線	0.44%	0.41%	0.36%	74	66	59
	丹波日吉線	-	1.81%	1.45%	-	1,160	930
中京交通	園福線（園部駅東口～桧山）	-	-	44.60%	-	-	82,276
	園福線（桧山～下ノ段）	-	-	16.20%	-	-	21,939

基本方針② JR山陰本線（園部～綾部）の複線化を視野に、まずコロナ禍等での減便からの回復を目指し、沿線全体の公共交通サービスを改善することで利用者を増やす				
評価指標		基準値 (R 1 年)	現況値 (R 2 年)	目標値 (R 8 年)
人口あたりの年間公共交通利用者数		40.83	33.08	36.50
鉄道・主要バス路線との接続便数 (一定時間内に乗り継げる割合) (%)	平日	-	※ 44%	54%
	土曜	-	※ 43%	53%
	休日	-	※ 56%	66%

基本方針③ 高校生・高齢者を主なターゲットに、自家用車に頼らなくても通期・通学・買い物・通院でき、「健幸」に暮らせる地域を目指す				
評価指標		基準値 (R 1 年)	現況値 (R 2 年)	目標値 (R 8 年)
人口あたりの年間鉄道定期利用者数		29.74	24.95	27.19
人口あたりの年間バス利用者数		21.54	17.75	19.13
高齢者の外出回数（平日の外出率）（%）		-	※ 47%	47%

基本方針④ 鉄道駅・主要バス停の乗継利便性や待合快適性を高め、安心感があり立ち寄りたくなる拠点へと変え、地域内外の交流を促進する				
評価指標		基準値 (R 1 年)	現況値 (R 2 年)	目標値 (R 8 年)
4 つの機能（照明・ネット環境・電源・テーブル）が整備された 鉄道駅・主要バス停の数		-	0	4

基本方針⑤ 案内強化やMaas等によって公共交通を分かりやすくし、一体化を進めることで使いやすさを向上させ、特に観光での移動を便利で快適にする				
評価指標		基準値 (R 1 年)	現況値 (R 2 年)	目標値 (R 8 年)
年間観光入込客数（千人）		-	4,062	5,034
休日のバス利用者数（人/日）		390.3	242.5	319.9

基本方針⑥ まちづくりと連携した公共交通サービス改善によって「おでかけ」したくなる地域とすることで、コロナ禍を乗り越え、人口減少特に若年層の流出を食い止める				
評価指標		基準値 (R 1 年)	現況値 (R 2 年)	目標値 (R 8 年)
（再掲）人口あたりの年間公共交通利用者数		40.83	33.08	36.50
若年層の人口割合（%）		-	23.2%	21.7%

※R3年の数値を使用